

第9編 砂防事業
 第5章 その他
 第1節 その他基準等

現 行	改 定
<p>ページ：9-5-8</p> <p>4. 資料の保存 事業完了後は、砂防設備台帳を整備すること。また、砂防設備の重要な部分については、施設毎に以下の資料を保存すること。</p> <p>4.1 保存資料</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 写真（着工前・竣工） 2) 全体計画書・基本計画書 3) 完成図面（平面図、縦断面図、横断面図、構造図、基礎処理図、仮設計画面図等） 4) 調査・設計関係資料（地質調査資料、施設設計、安定計算書等） 5) コンクリートの品質記録 6) 砂防ソイルセメント配合試験報告 7) 鋼製砂防堰堤の使用材料（メーカー名、商品名、型式名等） 8) その他、品質管理の中で重要な資料 9) 除石計画、管理用道路図、管理協定等の将来の維持管理に必要な資料 10) その他、将来改築や補修を行う際に必要な資料 <p>4.2 保存方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 紙媒体及び電子データにより保存する。電子データは、「電子納品及び情報共有に係る実施要領」、長野県が準用する「要領・基準類」及び「運用に関する手引き」に準じる。 2) 電子データは、2部作成し、建設部砂防課に1部提出する。 <p>4.3 製本の保管</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 紙媒体での保管は、電子データと同じ内容とする。 2) 製本の巻末に電子データが納入されたCDまたはDVDを添付する。 3) 製本は、1部作成し、現地機関で保管する。 <p>4.4 その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 砂防設備データベースの更新を行うこと。 <div data-bbox="367 1289 647 1455" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">○○沢 △△郡 ××村</p> <p style="text-align: center;">□□砂防堰堤</p> <p style="text-align: center;">令和××年 長野県</p> </div> <p style="text-align: center;">図 9-5-10 タイトル（例）</p>	<p>ページ：9-5-8</p> <p>4. 資料の保存 施設毎に工事完了後は、砂防設備台帳を整備し、以下の資料を保存すること。</p> <p>4.1 保存資料</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 写真（着工前・竣工） 2) 全体計画書・基本計画書 3) 完成図面（平面図、縦断面図、横断面図、構造図、基礎処理図、仮設計画面図等） 4) 調査・設計関係資料（地質調査資料、施設設計、安定計算書等） 5) コンクリートの品質記録 6) 砂防ソイルセメント配合試験報告 7) 鋼製砂防堰堤の使用材料（メーカー名、商品名、型式名等） 8) その他、品質管理の中で重要な資料 9) 除石計画、管理用道路図、管理協定等の将来の維持管理に必要な資料 10) その他、将来改築や補修を行う際に必要な資料 <p>4.2 保存方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 電子データによる保存を基本とする。電子データは、「電子納品及び情報共有に係る実施要領」、長野県が準用する「要領・基準類」及び「運用に関する手引き」に準じる。 2) 電子データは、砂防情報管理システムへの登録を行うこと。 <p>4.3 製本の保管 ・・・削除</p> <p>4.4 その他 ・・・削除</p>

第9編 砂防事業
第5章 その他
第5節 付録

現 行

ページ：9-5-16

2.4 計画規模

計画規模については、下記の確率規模の降雨とする。

解 説

費用便益分析シートのうち、運搬可能土砂量の算出表について、10年、20年、100年の降雨量(mm/24h)を表 9-5-1のとおり定める。算出根拠は「長野県内の降雨強度式：平成28年4月、長野県建設部河川課（参考資料4 確率雨量表（ガンベル法））」による。

ページ：9-5-17

表 9-5-1 費用便益分析シートに用いる確率降雨量（単位：mm/1440m（24h））

領域	10年	20年	100年	領域	10年	20年	100年
南佐久	144.8	166.4	215.5	木曾	160.5	180.3	225.2
北佐久	172.7	201.5	266.7	松本	122.3	139.3	177.7
上田	111.5	127.0	162.0	上高地	179.1	196.6	305.9
諏訪	134.4	151.2	189.4	白馬	166.5	189.1	240.3
飯伊	184.0	212.3	276.4	長野	106.1	120.8	154.1
長谷	150.9	171.3	217.7	志賀	168.8	199.6	269.4
南信濃	218.3	248.1	315.7	野沢温泉	122.9	138.7	174.6

改 定

ページ：9-5-16

2.4 計画規模

計画規模については、下記の確率規模の降雨とする。

解 説

費用便益分析シートのうち、運搬可能土砂量の算出表について、10年、20年、100年の降雨量(mm/24h)を表 9-5-1のとおり定める。算出根拠は「長野県内の降雨強度式：令和8年4月、長野県建設部河川課（参考資料4 確率雨量表（ガンベル法））」による。

ページ：9-5-17

表 9-5-1 費用便益分析シートに用いる確率降雨量（単位：mm/1440m（24h））

領域	10年	20年	100年	領域	10年	20年	100年
南佐久	145.4	166.7	215.0	木曾	161.6	180.9	224.7
北佐久	176.1	208.2	281.0	御嶽山	318.8	350.7	423.0
上田	116.0	132.2	168.8	松本	124.7	142.2	181.7
諏訪	137.0	154.5	194.3	上高地	186.7	207.1	253.2
飯伊	178.9	204.8	263.4	白馬	163.3	184.9	233.9
長谷	155.4	176.9	225.6	長野	108.0	122.7	156.2
南信濃	218.9	248.7	316.3	志賀	167.6	196.9	263.0
				野沢温泉	127.9	145.3	184.6